

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		水道事業負担金事務			事業コード	0031
担当課等	所属名	総務部 消防防災課		担当係名		
	課長名	総務部 消防防災課	担当者名	総務部 消防防災課 藤原	電話番号	内線5223

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	安全な暮らし	コード 2	施策	火災に強い消防体制の構築	コード 2
	基本事業	消防力の強化	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 9款 1項 4目 水道事業会計への負担金 (002-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 不明年度～)					
事務事業の概要	消防水利の拡充を図るため、公設消火栓新設等の経費を、負担金として水道事業所へ支出する。					
根拠法令等	水道法24条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
水道法24条で、水道事業者の消火栓設置義務及び市町村の費用負担義務が定められている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
地下式消火栓から地上式消火栓への変更及び消火栓標識の設置について、議会から求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
消防水利については、消防法第20条により当該市町村の設置が定められており、改正等の見通しはない。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民の安全	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口	単位	人
				B. 消防水利の基準数	単位	基
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 水道事業所へ公設消火栓の新設等に係る負担金を支出することにより、公設消火栓の整備を図った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 前年度と同様の事業を実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 負担金支出額	単位	千円
				B. 地上式消火栓設置数	単位	基
				C. 地下式消火栓設置数	単位	基
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	迅速な消防活動のため消防水利を充実する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 消防水利の充足率=消火栓の設置数÷消防水利の基準数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				B. 地上式消火栓の割合=地上式消火栓数÷(地上式消火栓数+地下式消火栓数) 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	火災に迅速に対応できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	覚知から放水までの平均所要時間(単位:分)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	人	297592	297267	297267	298148	298148	298148	26年度 298148
対象 指標B	消防水利の基準数	基	4792	4885	4885	4885	4885	4885	26年度 4885
対象 指標C									年度
活動 指標A	負担金支出額	千円	35198	40389	40351	37261	37496	37496	26年度 37496
活動 指標B	地上式消火栓設置数	基	2386	2415	2444	2424	2433	2442	26年度 2460
活動 指標C	地下式消火栓設置数	基	1432	1428	1424	1423	1418	1413	26年度 1403
成果 指標A	消防水利の充足率=消火栓の設置数÷消防水利の基準数	%	98.8	96.6	97.1	96.7	96.7	96.8	26年度 97.0
成果 指標B	地上式消火栓の割合=地上式消火栓数÷(地上式消火栓数+地下式消火栓数)	%	62.5	62.8	63.2	63.0	63.2	63.3	26年度 63.7
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	35,198	40,389	40,351	37,261	37,496	37,496	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	35,198	40,389	40,351	37,261	37,496	37,496	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	35,198	40,389	40,351	37,261	37,496	37,496	*****
	延べ業務時間数	時間	38	38	38	38	38	38	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	152	152	152	152	152	152	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	35,350	40,541	40,503	37,413	37,648	37,648	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 消火栓の整備充実により迅速な消火体制が図られる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 水道法24条で市の費用負担が義務付けられており、全市域を対象としているため。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 消防水利の増加により、迅速な消火活動が可能となる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 消防水利の確保ができず、迅速な消火活動の低下につながる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 消防水利の確保ができず、迅速な消火活動の低下につながる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 負担金支出に係る業務なので、削減は不可能である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 水道法24条で、水道事業者の消火栓設置義務及び市町村の費用負担義務が定められている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 水道法24条で、水道事業者の消火栓設置義務及び市町村の費用負担義務が定められている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 早期に地上式消火栓に移行することで、消防力の向上を図る。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 地上式消火栓に移行するために、設置スペースの確保と経費の調整が必要となる。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 消防水利の基準に沿って消火栓を設置しているが、消火栓の位置を知らしめる標識の設置率が低い状況にあることから、特に地下式消火栓の標識については、整備を図る必要がある。										
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
方向付けの理由と改革改善の内容 積雪時における消火活動では、地上式消火栓が見つけやすく、迅速な消火活動にもつながることから、地上式消火栓の割合を高めていく。												